

# 白神の絆

初冬のブナ林



【発行】林野庁 東北森林管理局  
津軽白神森林生態系保全センター

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82  
TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

## 令和2年度

### 第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議（青森県側）を開催

今年度の入山シーズンが終了し、白神の山々は本格的な雪山の季節となりました。

令和2年12月10日木曜日、西目屋村中央公民館に於いて、今シーズンの巡視活動結果を関係者間で情報共有を図り、来シーズンの活動が効率的なものになるよう、白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関や各機関に所属する巡視員が一堂に会し、『白神山地世界遺産地域巡視員会議』を開催しました。

（第1回白神山地世界遺産地域巡視員会議はコロナウイルスの影響により書面開催）

師走の多忙な時期にもかかわらず連絡会議関係機関及び各機関巡視員の40名に出席いただきました。

会議の開催にあたり津軽森林管理署長より挨拶があり、「日頃の巡視活動への尽力並びに活動を無事に終えられた事への感謝とお礼を申し上げます。また、今年度の遺産地域を巡る状況として、樹木の損傷3件、マナー違反5件確認された事、緩衝地域でナラ枯れの被害が発生し確認された事等、遺産地域の保全管理には地道な巡視活動が重要となっており、巡視活動で気づいたことは幅広く情報提供いただきますようお願いします。」等の話しがあったところです。

議事内容については、各機関からの事業実績報告に始まり、巡視員による巡視活動の状況、合同パトロールの巡視結果、核心地域への入山状況、樹木損傷等の状況、ニホンジカの生息情報、ナラ枯れの被害状況について、報告と説明がありました。

その中で樹木損傷等については、今年度は、津軽署長の挨拶でもありましたが、樹木



巡視員会議の様子



津軽森林管理署長挨拶

の損傷3件、マナー違反5件であり、昨年度よりは減少しましたが年平均件数と同等の結果となりました。

ニホンジカの生息確認情報では、世界遺産核心地域・緩衝地域では確認されませんでした。白神山地周辺地域では、青森県・秋田県合わせ16件22頭が確認されたとの報告がありました。

また、ナラ枯れの被害状況については、昨年までは深浦町だけであったのが、令和2年度は津軽地方へも拡大し、世界遺産緩衝地域及び周辺地域においても確認されました。白神山地周辺におけるナラ枯れ被害の対応策については、立木くん蒸という方法により駆除を行いましたが、急傾斜等により駆除できない箇所にあるものについては「白神山地世界遺産科学委員会」の助言もいただきながら対応をしていくとの報告がなされたところです。



**意見交換会の様子**

議事終了後は意見交換会へと移行し、入山届の疑問点や改善点について、意見をいただきました。いただいた意見を反映し、来シーズンの巡視活動が円滑なものとなるよう取り組んでいきたいと考えております。

会議の取りまとめとして、東北森林管理局計画課長より、「今年度の巡視活動が無事終了したことに感謝申し上げます。入山マナーに対する意識の向上など、巡視活動は白神山地を後世に繋いでいくための重要な意義を持つため、今後も引き続き巡視活動に対する

ご協力をお願いします。」との挨拶をもって、本会議は終了となりました。

今年度の白神山地世界自然遺産及び周辺地域における巡視活動は終了しましたが、白神山地世界遺産地域連絡会議としては、来シーズンも巡視活動やマナー向上のための啓発活動を継続していきます。

「白神の絆」をご覧になり登山・観光等で白神山地を訪れる際は「守ろうマナー白神山地はみんなの遺産」でご協力いただくと共に広大な白神の自然を満喫いただければと思います。(田中)





## 中・大型哺乳類調査（冬季期間）のセンサーカメラを増設しました

この調査については、4～11月まで32台のセンサーカメラを稼働していましたが、冬季期間の積雪を考慮し、深浦町内の15台を継続し、更にニホンジカ越冬地調査を強化するため新たに2台増設、計17台にて12～3月末の期間調査することとしました。1か月ほど前のニホンジカの越冬地調査で確認した、ニホンジカが食べた植物の痕があった場所に1台設置し、もう1台は動物がいたような痕を確認でき、何かが通った道のような痕や、地面がかき乱された様な痕があった所に設置しました。それがニホンジカかどうかは現段階では不明ですが、動物がよく行き交いする場所である可能性が高く、センサーカメラに映るかどうか今後に期待です（本来は映らない方がいいのですが…）。

また、センサーカメラは人の出入りがほとんどないような場所にあるのですが、万が一発見した場合は触れないようお願い致します（もしセンサーカメラに映ってしまったら画像はこちらで確実に削除するのでご安心ください）。



道中で発見した動物の足跡らしきもの。👣

何の動物かは判断できませんが、おそらくカモシカかニホンジカのものでしょう。カモシカとニホンジカの足跡はとても似ているらしく、足跡だけで判断するのは難しいです。



←こんな感じのあしあとなのですが、見えるでしょうか。



設置の様子

（映っているのは木村）📷

写真左側が開けていて、そこでニホンジカが食べた植物の跡がたくさん見つかりました。ニホンジカは斜面地より平地を好むらしく、写真のように平べったいところに向けてセンサーカメラを設置するのがポイントです。（木村）



## コラム：新採のひとこと

4月1日に当センターに来てから約8か月が経ち、早くも新年を迎える時期になりました。新規採用者がセンターに配属されるのはとても珍しいことで、私としては当センターに来て本当にラッキーだなと感じています。業務で現場に行くことが多く、白神山地のパトロールで山を歩き、川を漕ぎ、私の好きな自然に触れることに多くの時間を費やし、たくさんの新鮮な経験をすることができました。

しかし、今年はコロナ禍の影響で毎年行っている森林教室のイベントが中止となりとても残念だと感じていますが、自然再生のイベントを2回遂行することができたのは不幸中の幸いだと思います。来年度私が当センターにいるかどうかは分かりませんが、私としては来年度も当センターで白神山地の保全に携わっていきたくて思っております。そして可能ならば、今年度できなかったイベントを始めとして、たくさんの新しいことにも挑戦していければと思っております。(木村)



パトロールで行った、初めての白神岳



紅葉になりつつある、暗門の滝遊歩道

## 今年を振り返って・・・

今年1年を振り返ってみると、「当たり前と思っていた日常」を過ごすことが困難になった年を感じられました。

毎年、春と秋に実施していた森林教室は中止となりましたが、夏には自然再生活動を例年の定員を半分にして、2回実施することができました。天候に恵まれなかった日もありましたが、参加者の皆様の明るい笑顔に触れ合えたことは、個人的になにより嬉しかったです。また、次のイベント等で皆様の笑顔を見せていただければ幸いです。

最後に、感染症が収まらない状況ですが、新しい年が皆様にとって、より良い1年となりますように、そして、良いお年をお過ごしください。(下山)



第1回自然再生活動の様子